大豆情報

No. 4

ＪＡえちご中越 さんとう営農センター
☎（0258）41-2887

令和８年１０月８日

本年の成熟期は、単作大豆（エンレイ）で10月15日~22日頃と予想されます。登熟はほ場間差が大きいため、必ず黄化率・落葉株率から成熟期を予想しましょう。成熟期は、黄葉期（ほ場内の80～90%の葉が黄化した時）からおおむね15日後頃が目安となります。

1. 収穫作業

今年度は、播種時期の早晩に関係なく、ほ場間の生育にばらつきが見られます。ほ場内の成熟を観察して、収穫適期を判断しましょう！



©ワンジャ

（１）収穫期の目安

黄葉期

1株内で 80~90%の葉が黄化し、ほ場内の 80~90%の茎が黄化したとき

約１０日後

落葉期

80%の株が葉柄も含め完全に落葉したとき

約５日後

成熟期

ほ場内の大豆の莢が 80~90%褐変し、振るとカラカラと音がするとき



莢表面に線（莢内皮の割れ）が見えるようになると…「カラカラ」音がします。

“亀甲じわ粒”は成熟期後、収穫が遅くなるほど増加します。「子実水分が２２%以下、茎水分が６０%以下」になったら・・・“速やかに”収穫作業を開始しましょう!!



収穫始め

茎がポキッと折れるとき
（子実水分 22%以下、茎水分 60%以下）

※ 収穫の晩限：「成熟期から2週間以内」

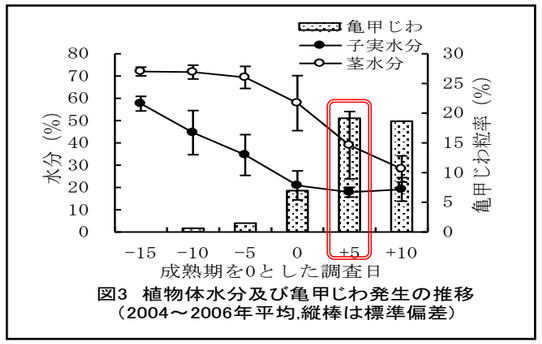
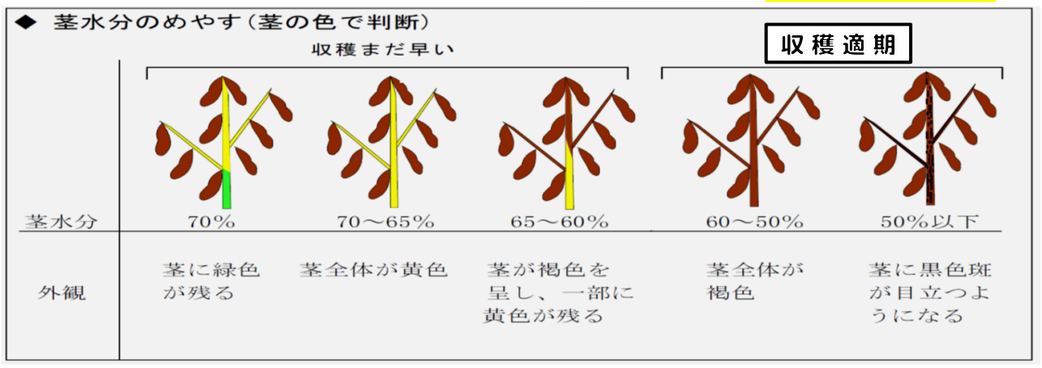


図3 植物体水分及び亀甲じわ発生の推移
（2004～2006年平均,縦棒は標準偏差）



◆ 子実水分のめやす（硬さで判断）

	収穫にはまだ早い	収穫開始	収穫適期
子実水分（%）	40%	20%	20%未満
子実の状態	豆が膨らんでいる	締まっているが、指でつまみ力を入れると変形する	硬く締まって、爪を立てるとわずかに傷がつく

収穫作業時は安全を確保し、農作業事故防止に努めましょう!!

（２）葉の黄化率・落葉株率からみた成熟期前日数のめやす

エンレイの黄化率・落葉株率から見た成熟期前日数のめやす

黄化率（１株内で黄色になった葉の割合）

黄化率（%）	成熟期前日数
10	22
30	20
50	18
70	16
80～90	15

落葉株率（ほ場内で葉柄も含め、落葉した株の比率）

落葉株率（%）	成熟期前日数
20	11
40	9
60	7
80	5

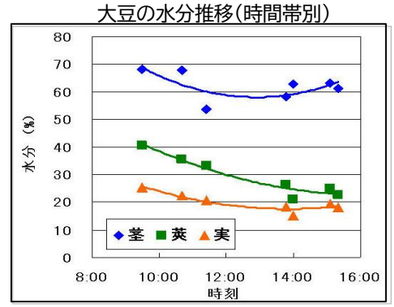
※１ 表はあくまで目安となります。ほ場の成熟状況を確認して、適期収穫に努めましょう。
※２ 葉の損傷や早期落葉で黄葉期を判断できない場合は、莢や茎の熟色、子実水分から成熟の進みを確認しましょう。

(3)収穫時間

子実水分は１日の中でも時間と天候により変化します。汚損粒の発生を防ぐために、必ず下表の時間の範囲内で刈り取りを実施してください。⇒ 子実水分が高い場合は収穫を先送りします。

刈り取り前日の天気	刈り取り当日の天気	刈り取り時間帯
晴れ	晴れ	11時～17時ころまでの５～６時間程度
晴れ	曇り	11時ころからの3～4時間程度 ＊ただし、前々日までに降雨があった場合には、子実水分を確認する。
雨	晴れ	作業が不可能な場合がある

大豆の水分推移（時間帯別）



※ 降雨量や当日の天候にも左右されますので、**試し刈りにより作業可否をチェック**してください。

2. 汚損粒対策

ほ場ごとに子実水分をチェック！→ 天気予報を確認して計画的に収穫しましょう!!



(1)青立ち株・雑草の除去

収穫作業前までに必ず青立ち株や雑草を抜き取り、汚損粒の発生防止に努めてください。

特に、ヨウシュヤマゴボウ（赤色）、イヌホウズキ（紫色）は毒性があることから、果実汁が付着した大豆は、農産物検査の対象外となり販売できなくなりますので、十分に注意してください!!


ヨウシュヤマゴボウの実


イヌホウズキの実


ヨウシュヤマゴボウによる汚損

(2)土砂のかき込み防止

極端に低い位置での刈り取りを避けるとともに（刈り取り高さは１０cm 程度）、特に枕地や倒伏しているほ場では慎重に刈り取り作業を進めてください。また、土砂をかき込んだ場合は、汚損粒発生を最小限にとどめるため、エンジンを止めてすぐに土を取り除きましょう。

3. 品質低下防止対策

〇汚損粒の混入や品質の悪い大豆は、刈り分けして他の大豆と区分して収穫・搬入してください。
〇収穫した大豆を長時間放置すると品質が低下するので収穫後は早めに共乾施設に搬入してください。